

授業科目名	演習法人税法Ⅰ		科目コード	344		
開講クラス	総合ビジネス科	コース	会計実務コース	学 年	1 年	
担当教員	有馬 智裕					
	実務経験教員 ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 ) 実務経験内容 金融機関勤務					
開講時期 1コマ90分	前期・ <input checked="" type="radio"/> 後期・通年・特別講義・その他			授業コマ数	32コマ	
	<input checked="" type="radio"/> 必須・選択・選択必須			単位数	2単位	
使 用 テキスト1	書 名	法人税法入門				
	著 者	TAC(株)				
	出版社	TAC(株)				
使 用 テキスト2	書 名					
	著 者					
	出版社					
参考図書						
授業形態	<input checked="" type="radio"/> 講義・ <input checked="" type="radio"/> 演習・実習・実験・その他 ( )					
<授業の目的・目標> 全国経理教育協会主催法人税法3級取得に向けての実践問題に取り組む。						
<授業の概要・授業方針> 法人税とは何か？ 法人税の計算の基礎や基本を学習して、法人の課税所得を計算して納税額を算出できるようになる。						
<成績基準・評価基準> 学内試験 取得検定						
<使用問題集・注意事項> 過去問題集						
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>						

授業科目名		演習法人税法Ⅰ
回	授業内容	備考
1	法人税の概要	
2	法人税とは	
3	各事業年度の所得の金額の具体的な計算方法	
4	損金の額	
5	租税公課の概要	
6	減価償却の概要	
7	償却限度額の計算	
8	申告調整額の計算及び処理	
9	繰延資産の概要	
10	貸倒引当金の概要	
11	個別評価債権についての繰入限度額の計算	
12	一括評価金銭債権についての繰入限度額の計算	
13	申告調整額の計算及び処理	
14	同族会社の意義及びその判定	
15	役員及び使用人兼務役員の意義	
16	役員給与等の取扱い	
17	税額の計算・別表4及び別表1のまとめ	
18	寄付金の範囲と区分	
19	損金算入限度額の計算	
20	指定寄付金と一般寄付金	
21	交際費等の範囲・損金算入額の計算	
22	棚卸資産の評価・資産の評価損	
23	益金の額	
24	受取配当金の益金不算入額の計算	
25	申告及び納付	
26	理論のまとめ定義関係	
27	理論のまとめ手続関係	
28	計算演習	
29	模擬問題1	
30	模擬問題2	
31	過去問題1	
32	過去問題2	